

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅰ・Ⅱ・A	[数学]

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修単位	数学Ⅰ(3) Ⅱ(1) A(1)
教科書	数学Ⅰ Standard (東京書籍) 数学Ⅱ Standard (東京書籍) 数学A Standard (東京書籍)
副教材	なし

科目目標
【数学Ⅰ】 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 【数学Ⅱ】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 【数学A】 図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学期	考查	単元名（考查範囲）	学習内容	SDGs	評価の観点		
					①	②	③
1学期	中間考查	【数学Ⅰ】 1章 数と式 1節 式の計算 2節 実数 3節 1次方程式	- 文字式を含んだ演算を適切に処理することができる。 - 実数を理解し、その計算ができる。 - 方程式の解の意味を理解し、解くことができる。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう	○	○	○
	期末考查	【数学Ⅰ】 2章 集合と論証 1節 集合 2節 命題と論証 2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 2節 2次方程式と2次不等式 【数学A】 1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数	- 各種用語や記号の意味を理解し、命題の逆・裏・対偶を適切に作ることができる。 - 平方完成を理解し、2次関数のグラフを書くことができる。 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、2次方程式や2次不等式と関連して考察することができる。 - 様々な場合の数を順列や組合せの考え方を利用して求めることができる。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう	○	○	○

2 学期	中間 考 査	【数学Ⅰ】 3章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 2節 三角比の拡張 3節 三角形への応用 【数学A】 1章 場合の数と確率 2節 確率とその基本性質	- 様々な角度において、正弦・余弦・正接を求めることができる。 - 正弦定理、余弦定理、面積公式を理解して、三角形の辺の長さや角の大きさ、面積を求めることができる。 - 確率の定義、性質を理解し、適切に確率を求めることができる。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
	期 末 考 査	【数学Ⅰ】 5章 データの分析 1節 データの分析 2節 データの分析の応用 【数学A】 1章 場合の数と確率 3節 いろいろな確率	- 各種用語や記号の意味を理解し、データの散らばり具合を比較し、活用することができる。 - 仮説検定の考え方について学ぶ。 - 確率の定義、性質を理解し、適切に確率を求めることができる。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
3 学期	学 年 末 考 査	【数学Ⅱ】 1章 方程式・式と証明 1節 多項式・分数式の計算 2節 2次方程式 3節 高次方程式 【数学A】 2章 図形の性質 1節 三角形と比	- 多項式及び分数式の演算を適切に処理することができる。 - 複素数を理解し、活用することができる。 - 剰余の定理や因数定理を理解し、活用することができる。 - 三角形の性質を理解し、三角形に関する様々な値を求めることができる。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・ 数理的に考察し処理することのよさや既習事項などを体系的に整理し活用できる。 ・ 構成した数学的知識の意味を考、見出した数学的知識をいろいろな場面に活用できる。 ・ 文化や社会生活において数学が果たしている役割などを理解している。 【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等	・ 数学的な見方や考え方のよさを認識できる。 ・ 自らの思考過程を振り返りながらより発展的に考え一般化して問題の本質を探ることができる。 【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等	・ 多面的にものを見たり、理論性のあるいろいろな考えに触れたり、試行錯誤しながら考え、主体的に数学的な見方や考え方のよさを学ぼうとする。 ・ 身近な事象を数学化し、積極的に数学を活用しようとする。 【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
授業を受ける際の注意事項等 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 勉強の仕方 授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎基本的な問題は正しい解答をかけるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅰ・A	[数学]

履修学科	総合学科
履修学年	第1学年
履修単位	数学Ⅰ(3) A(2)
教科書	高校数学Ⅰ (実教出版) 高校数学A (実教出版)
副教材	高校数学Ⅰ専用スタディノート 高校数学A専用スタディノート

科目目標
【数学Ⅰ】 数と式，2次関数，三角比，集合と論証，データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付け，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。 【数学A】 場合の数と確率，図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

学期	考査	単元名（考査範囲）	学習内容	SDGs	評価の観点		
					①	②	③
1学期	中間考査	【数学Ⅰ】 1章 数と式 1節 整式 2節 実数 3節 方程式と不等式 【数学A】 1章 場合の数と確率 1節 場合の数	- 文字式を含んだ演算を適切に処理することができる。 - 実数を理解し，その計算ができる。 - 方程式の解の意味を理解し，解くことができる。 - 様々な場合の数を順列や組合せの考え方を利用して求めることができる。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
	期末考査	【数学Ⅰ】 2章 2次関数 1節 関数とそのグラフ 2節 2次関数の値の変化 【数学A】 1章 場合の数と確率 2節 確率	- 関数を理解し，グラフを書くことができる。 2次関数のグラフを，2次方程式や2次不等式と関連して考察することができる。 - 確率の定義，性質を理解し，適切に確率を求めることができる。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○

2 学 期	中 間 考 査	【数学Ⅰ】 3 章 三角比 1 節 三角比 2 節 三角比の応用 【数学A】 2 章 図形の性質 1 節 三角形の性質	- 様々な角度において、正弦・余弦・正接を求めることができる。 - 正弦定理、余弦定理、面積公式を理解して、三角形の辺の長さや角の大きさ、面積を求めることができる。 - 三角形の性質を理解し、三角形に関する様々な値を求めることができる。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
	期 末 考 査	【数学Ⅰ】 4 章 集合と論証 1 節 集合と論証 【数学A】 2 章 図形の性質 2 節 円の性質 3 節 作図	- 各種用語や記号の意味を理解し、命題の逆・裏・対偶を適切に作ることができる。 - 円の性質を理解し、円に関する様々な値を求めることができる。 - 様々な図形の性質を理解し、作図することができる。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
3 学 期	学 年 末 考 査	【数学Ⅰ】 5 章 データの分析 1 節 データの分析 【数学A】 2 章 図形の性質 4 節 空間図形	- 各種用語や記号の意味を理解し、データの散らばり具合を比較し、活用することができる。 - 空間図形に関する様々な値を求めることができる。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・ 数理的に考察し処理することのよさや既習事項などを体系的に整理し活用できる。 ・ 構成した数学的知識の意味を考、見出した数学的知識をいろいろな場面に活用できる。 ・ 文化や社会生活において数学が果たしている役割などを理解している。 【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等	・ 数学的な見方や考え方のよさを認識できる。 ・ 自らの思考過程を振り返りながらより発展的に考え一般化して問題の本質を探ることができる。 【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等	・ 多面的にものを見たり，理論性のあるいろいろな考えに触れたり，試行錯誤しながら考え，主体的に数学的な見方や考え方のよさを学ぼうとする。 ・ 身近な事象を数学化し，積極的に数学を活用しようとする。 【評価の対象】 提出物，主体的に授業に臨む態度，グループ活動に主体的に取り組む態度，粘り強く数学に取り組む態度 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
授業を受ける際の注意事項等 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは，諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 勉強の仕方 授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように，特に典型的な問題，基礎基本的な問題は正しい解答をかけるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅱ・A・B	[数学]

履修学科	普通科 文系
履修学年	第2学年
履修単位	数学Ⅱ(3) A(1) B(1)
教科書	数研出版改訂版 新編 数学Ⅱ 数学B
副教材	なし

科目目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【数学Ⅱ】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 【数学A】 図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 【数学B】 数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学期	考查	単元名（考查範囲）	学習内容	SDGs	評価の観点		
					①	②	③
1学期	中間 考 査	〈数学α〉 数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	3次式の展開と因数分解、二項定理及び多項式の割り算、分数式とその計算について学ぶ。 - 恒等式について学ぶ。 - 等式と不等式の証明について学ぶ。 - 複素数とその計算について理解する。 2次方程式が解けるようになる。 2次方程式の解と係数の関係について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
		〈数学β〉 数学B 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列	- 数列と一般項、等差数列、等差数列の和、等比数列、等比数列の和について学ぶ。 - 和の記号Σ、階差数列、いろいろな数列の和について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう			

	期末 考 査	〈数学α〉 数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第2節 高次方程式 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	- 剰余の定理と因数定理，高次方程式について学ぶ。 - 直線上の点，平面上の点，直線の方程式，2直線の関係について学ぶ。 - 円の方程式，円と直線，2つの円の関係について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
		〈数学β〉 数学B 第1章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	- 漸化式，数学的帰納法について学ぶ。 - 確率変数と確率分布，確率変数の期待値と分散について学び，確率変数の和と積，二項分布，正規分布について理解する。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう			
				9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう			
2 学 期	中間 考 査	〈数学α〉 数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第3節 軌跡と方程式 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	- 軌跡と方程式，不等式の表す領域について学ぶ。 - 角の拡張，三角関数，三角関数のグラフ，三角関数の応用について学ぶ。 - 加法定理，加法定理の応用について理解する。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
		〈数学β〉 数学B 第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 第3章 数学と社会生活 【数学B終了予定】	- 母集団と標本，標本平均の分布，推定，仮説検定について学ぶ。 - 数学を活用した問題解決，社会の中にある数学について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう			
				9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう			

	期末 考 査	〈数学 α 〉 数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	- 微分係数，導関数とその計算，接線の方程式について学ぶ。 - 関数の増減と極大・極小，関数の増減・グラフの応用について学ぶ。 - 不定積分，定積分と面積について理解する。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
		〈数学 β 〉 数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	- 指数の拡張，指数関数について学ぶ。 - 対数とその性質，対数関数，常用対数について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう			
3 学 期	学 年 末 考 査	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの演習		9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【数学Ⅱ】 いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【数学B】 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	【数学Ⅱ】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【数学B】 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察した	【数学Ⅱ】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 【数学B】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト， 授業での取り組み 等	りする力，日常の事象や社会の事象を 数学化し，問題を解決したり，解決の 過程や結果を振り返って考察したり する力を養う。 【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト， 授業での取り組み 等	【評価の対象】 提出物，主体的に授業に臨む態度， グループ活動に主体的に取り組む態 度，粘り強く数学に取り組む態度 等
---	---	---

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
授業を受ける際の注意事項等 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは，諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。 スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 勉強の仕方 授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように，特に典型的な問題，基礎基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅱ・B・Ⅲ	[数学]

履修学科	普通科 理系
履修学年	第2学年
履修単位	数学Ⅱ (3) B (2) Ⅲ (1)
教科書	数研出版改訂版 新編 数学Ⅱ 数学B 数学Ⅲ
副教材	なし

科目目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【数学Ⅱ】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 【数学B】 数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 【数学Ⅲ】 極限、微分法及び積分法の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学期	考查	単元名（考查範囲）	学習内容	SDGs	評価の観点		
					①	②	③
1学期	中間考查	〈数学α〉 数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	3次式の展開と因数分解、二項定理及び多項式の割り算、分数式とその計算について学ぶ。 - 恒等式について学ぶ。 - 等式と不等式の証明について学ぶ。 - 複素数とその計算について理解する。 2次方程式が解けるようになる。 2次方程式の解と係数の関係について学ぶ。 - 剰余の定理と因数定理、高次方程式について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
		〈数学β〉 数学B 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	- 数列と一般項、等差数列、等差数列の和、等比数列、等比数列の和について学ぶ。 - 和の記号Σ、階差数列、いろいろな数列の和について学ぶ。 - 漸化式、数学的帰納法について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう			

2 学 期	期 末 考 査	〈数学α〉 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と方程式	- 直線上の点, 平面上の点, 直線の方程式, 2直線の関係について学ぶ。 - 円の方程式, 円と直線, 2つの円の関係について学ぶ。 - 軌跡と方程式, 不等式の表す領域について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
		〈数学β〉 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	- 確率変数と確率分布, 確率変数の期待値と分散について学び, 確率変数の和と積, 二項分布, 正規分布について理解する。 - 母集団と標本, 標本平均の分布, 推定, 仮説検定について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
	中 間 考 査	〈数学α〉 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	- 角の拡張, 三角関数, 三角関数のグラフ, 三角関数の応用について学ぶ。 - 加法定理, 加法定理の応用について理解する。 - 指数の拡張, 指数関数について学ぶ。 - 対数とその性質, 対数関数, 常用対数について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
		〈数学β〉 第3章 数学と社会生活 【数学B終了予定】	数学を活用した問題解決, 社会の中にある数学について学ぶ。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
	期 末 考 査	〈数学α〉 数学II 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	- 微分係数, 導関数とその計算, 接線の方程式について学ぶ。 - 関数の増減と極大・極小, 関数の増減・グラフの応用について学ぶ。 - 不定積分, 定積分と面積について理解する。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○

		〈数学β〉 数学Ⅲ 第1章 関数 第2章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限	- 分数関数，無理関数，逆関数と合成関数について学ぶ。 - 数列の極限について学び，無限等比数列，無限級数について理解する。 - 関数の極限について学び，三角関数と極限，関数の連続性について理解する。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう			
3 学期	学 年 末 考 査	〈数学α〉 数学Ⅲ 第3章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数	- 微分係数と導関数について学び，導関数の計算について理解する。 - いろいろな関数の導関数について理解し，第n次導関数，曲線の方程式と導関数について理解する。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう			
		〈数学β〉 数学Ⅲ 第4章 微分法の実用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用 【第5章 積分法とその応用は進度によって2年生で学習するかどうかを判断します。】	- 接線の方程式，平均値の定理，関数の値の変化，関数のグラフについて学ぶ。 - 微分法の方程式，不等式への応用について学び，速度と加速度，近似式について理解する。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○

評価の観点 ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【数学Ⅱ】 いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【数学B】 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【数学Ⅲ】	【数学Ⅱ】 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【数学B】 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率	【数学Ⅱ】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 【数学B】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 【数学Ⅲ】

極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等	分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【数学Ⅲ】 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等
---	---	---

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）	
授業を受ける際の注意事項等 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。 勉強の仕方 授業中に学習したことをその日のうちに復習するようにしましょう。例題を見なくても練習問題ができるように、特に典型的な問題、基礎基本的な問題は解法ごと暗記できるまで繰り返し解き直しをするようにしましょう。	

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅱ	[数学]

履修学科	総合学科
履修学年	第2学年
履修単位	数学Ⅱ（2）
教科書	数研 改訂版 新高校の数学Ⅱ
副教材	

科目目標
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

学期	考査	単元名（考査範囲）	学習内容	SDGs	評価の観点		
					①	②	③
1学期	中間考査	第1章 複素数と方程式 第1節 式の計算	多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう	○	○	○
	期末考査	第2節 複素数と方程式 第3節 式と証明	- 数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の計算ができるようにする。また，複素数を用いて，2次方程式やその解についてより一般的に考察できるようにする。 - 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。		○	○	○
2学期	中間考査	第2章 図形と方程式 第1節 点と直線	座標や式を用いて，直線の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう	○	○	○
	期末考査	第2章 図形と方程式 第2節 円	座標や式を用いて，円の性質や関係を数学的に表現し，それらの有用性を認識する。また，図形を，与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに，不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し，事象の考察に活用できるようにする。		○	○	○

3 学期	学年末 考査	第3章 三角関数	・ 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう	○	○	○
------	-----------	----------	--	--	---	---	---

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識するべきか）		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 【評価の対象】 定期考査・課題考査・単元テスト、授業での取り組み 等	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度 グループ活動に主体的に取り組む態度、粘り強く数学に取り組む態度等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）
授業を受ける際の注意事項等 1 授業に主体的に参加する。 問題演習や意見交換・ペア活動など授業に自らすすんで参加する姿勢を心がけましょう。 2 課題に一生懸命に取り組む。 課題を教科担任の指示に従って一生懸命に取り組みましょう。期限を守るのも大事です。 3 「分からない」をそのままにしない。 分からない問題に出会ったときは、諦めるのではなく友人や先生などに質問するようにしましょう。スタディサプリの動画を視聴するのも有効な手段です。

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅱ・B	[数学]

履修学科	普通科 文系
履修学年	第3学年
履修単位	数学Ⅱ（選択2），数学B（3）
教科書	新編数学Ⅱ（数研出版） 新編数学B（数研出版）
副教材	共通テスト問題集

科目目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【数学Ⅱ】 いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。 【数学B】 確率分布と統計的な推測，数列又はベクトルについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。

学期	考査	単元名（考査範囲）	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	中間考査	演習 「スタディサプリスタンダード」 「スタディサプリベーシック」	総復習問題	○	○	○	○
	期末考査	演習 「スタディサプリスタンダード」 「スタディサプリベーシック」	総復習問題	○	○	○	○
2学期	中間考査	演習 「スタディサプリスタンダード」 マーク演習	総復習問題	○	○	○	○
	期末考査	演習 「スタディサプリスタンダード」 マーク演習	総復習問題	○	○	○	○
3学期	卒業考査	マーク演習	総復習問題	○	○	○	○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断 ③技能・表現 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
- 数学的な概念や原理・法則への関心 - 授業に参加する意欲や取り組み - 学んだことを積極的に活用しようとする態度 - 日々題や休日課題に取り組む姿勢 【評価の対象】 提出物，主体的に授業に臨む態度，粘り強く数学に取り組む態度 等	- 簡単な例から順序立てた考察・思考 - より一般的事象へ拡張する想像力 - 問題解決のための論理的思考力 【評価の対象】 定期考査・課題考査，授業での取り組み 等	- 基本的な技能の習熟 - 計算処理の速度，正確さ - 数学的な正しい表現の習熟 【評価の対象】 定期考査・課題考査，授業での取り組み 等	- 基本概念の明解な理解 - 知識を有効に使い問題を解決する能力 【評価の対象】 定期考査・課題考査，授業での取り組み 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績の付けかた）

【授業態度の評価】

理解の積み重ねが大事ですので、毎時間が真剣勝負だと考えて下さい。その為にも忘れ物はしない。また、授業がスムーズにいくように授業開始5分前には席に座って教科書・ノートを広げておく。居眠りや私語は減点の対象とします。

【課題提出】

平常点に大いに関係するので、毎日の日々題以外の休日課題や週末課題も期限内に提出すること。理解度チェックも兼ねるので必ずやること。（復習のため）

【成績】

（中間考査+学期末考査での点数分70点）＋平常点（宿題，課題考査，出席点での30点）＝100点

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅲ・A・B	[数学]

履修学科	普通科 理系
履修学年	第3学年
履修単位	数学Ⅲ (4), 数学A (1) 数学B (1)
教科書	新編数学Ⅲ (第一学習社) 新編数学A (第一学習社) 新編数学B (第一学習社)
副教材	スタディサプリ 攻略共通テストⅠ+A/Ⅱ+B(東京書籍)

科目目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【数学Ⅲ】 平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。 【数学A】 場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 【数学B】 確率分布と統計的な推測、数列又はベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

学期	考查	単元名 (考查範囲)	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	中間考查	演習 「スタディサプリスタンダード」 「攻略共通テストⅠ+A/Ⅱ+B」 マーク演習 数学Ⅲ 4章 微分法 1節 導関数 2節 関数値の変化 3節 導関数の応用	総復習問題 ・ 導関数の定義を確認したり、微分可能性と連続性について理解したりする。 ・ 様々な関数の導関数のついて理解する。 ・ 曲線の接線や法線の方程式が求められるようになる。 ・ 平均値の定理について理解する。 ・ 関数の増減、極値、凹凸、変曲点、漸近線などを調べてグラフをかくことができるようになる。 ・ 関数の最大値・最小値を求めることができるようになる。 ・ 速度・加速度、近似式について理解する。	○	○	○	○

	期末考査	演習 「スタディサプリスタンダード」 「攻略共通テストⅠ+A/Ⅱ+B」 マーク演習 5章 積分法 1節 不定積分 2節 定積分	総復習問題 ・ 関数の不定積分の公式を理解する。 ・ 置換積分法, 部分積分法について理解する。 ・ 定積分の置換積分法や偶関数・奇関数の定積分の性質について理解する。 ・ 定積分の部分積分法について理解する。 ・ 定積分で表された関数について理解する。 ・ 区分求積法と定積分の関係について理解する。	○	○	○	○
2学期	中間考査	演習 「スタディサプリスタンダード」 「Set Up 数学演習ⅠⅡAB」 マーク演習 数学Ⅲ 5章 積分法 3節 積分法の応用	総復習問題 ・ 積分を用いて, 図形の面積や立体の体積, 曲線の長さを求めることができるようになる。	○	○	○	○
2学期	中間考査	演習 「スタディサプリスタンダード」 「Set Up 数学演習ⅠⅡAB」 マーク演習	総復習問題	○	○	○	○
	期末考査	演習 「スタディサプリスタンダード」 「攻略共通テストⅠ+A/Ⅱ+B」 マーク演習	総復習問題	○	○	○	○
3学期	卒業考査	演習 「スタディサプリスタンダード」 「攻略共通テストⅠ+A/Ⅱ+B」 マーク演習	総復習問題	○	○	○	○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断 ③技能・表現 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
- 数学的な概念や原理・法則への関心 - 授業に参加する意欲や取り組み - 学んだことを積極的に活用しようとする態度 - 日々題や休日課題に取り組む姿勢 【評価の対象】 提出物, 主体的に授業に臨む態度, 粘り強く数学に取り組む態度 等	- 簡単な例から順序立てた考察・思考 - より一般的事象へ拡張する想像力 - 問題解決のための論理的思考力 【評価の対象】 定期考査・課題考査, 授業での取り組み 等	- 基本的な技能の習熟 - 計算処理の速度, 正確さ - 数学的な正しい表現の習熟 【評価の対象】 定期考査・課題考査, 授業での取り組み 等	- 基本概念の明解な理解 - 知識を有効に使い問題を解決する能力 【評価の対象】 定期考査・課題考査, 授業での取り組み 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績のつけかた）

【授業態度の評価】

理解の積み重ねが大事ですので、毎時間が真剣勝負だと考えて下さい。その為にも忘れ物はしない。また、授業がスムーズにいくように授業開始5分前には席に座って教科書・ノートを広げておく。居眠りや私語は減点の対象とします。

【課題提出】

平常点に大いに関係するので、毎日の日々題以外の休日課題や週末課題も期限内に提出すること。理解度チェックも兼ねるので必ずやること。（復習のため）

【成績】

（中間考査＋学期末考査での点数分70点）＋平常点（宿題，課題考査，出席点での30点）＝100点

鹿児島県立徳之島高校シラバス	
数学Ⅱ	[数学]

履修学科	学科 総合学科
履修学年	第3学年
履修単位	数学Ⅱ（2）
教科書	新高校の数学Ⅱ（数研出版）
副教材	教科書学習ノート

科目目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

学期	考査	単元名（考査範囲）	学習内容	評価の観点			
				①	②	③	④
1学期	中間考査	第3章 三角関数	・ 三角関数の相互関係、三角関数のグラフ、加法定理、2倍角の公式、三角関数の合成、弧度法について理解を深める。	○	○	○	○
	期末考査	第4章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	・ 指数を0や負の整数まで拡張し、指数法則について理解する。 ・ 対数の定義を理解し、簡単な値を求められるようになる。	○	○	○	○
2学期	中間考査	第5章 微分と積分 第1節 微分法	・ 平均変化率の定義を理解し、微分係数を求められるようになる。 ・ 導関数を定義し、導関数を用いて、関数の増減、極大・極小を調べることができるようにし、グラフを活用して最大値・最小値を求められるようになる。	○	○	○	○
	期末考査	第5章 微分と積分 第2節 積分法	・ 不定積分、定積分を定義し、計算できるようになる。 ・ 定積分の応用として、曲線などで囲まれた図形の面積を求められるようになる。	○	○	○	○
3学期	卒業考査	数学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲの総復習	・ プリントを使用して、数学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲの復習に取り組むことで高校数学の理解を深める。	○	○	○	○

評価の観点 ①関心・意欲・態度 ②思考・判断 ③技能・表現 ④知識・理解

評価の視点（生徒が授業や課題に取り組むときに何を意識すべきか）			
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
- 数学的な概念や原理・法則への関心 - 授業に参加する意欲や取り組み - 学習したことを積極的に活用しようとする態度 - 日々題や休日課題に取り組む姿勢 【評価の対象】 提出物、主体的に授業に臨む態度、粘り強く数学に取り組む態度 等	- 簡単な例題から順序立てた考察・思考 - より一般的事象へ広げる想像力 - 問題解決のための論理的思考力 【評価の対象】 定期考査・課題考査、授業での取り組み 等	- 基本的な計算技能の習熟 - 計算処理の早さ、正確さ - 数学的な正確な表現の習熟 【評価の対象】 定期考査・課題考査、授業での取り組み 等	- 基本的公式、定理の明解な理解 - 知識を有効に使い、問題を解決する能力 【評価の対象】 定期考査・課題考査、授業での取り組み 等

担当者から（授業を受けるときの約束事・勉強の仕方・成績の付けかた）
【授業態度の評価】 理解の積み重ねが大事ですので、毎時間が真剣勝負だと考えて下さい。その為にも忘れ物はしない。また、授業がスムーズにいくように授業開始3分前には席に座って教科書・ノートを広げて準備する。居眠りや私語は減点の対象とします。 【課題提出】 平常点に大いに関係するので、休日課題や週末課題も期限内に提出すること。理解度チェックも兼ねるので必ずやること。（復習のため） 【成績】 （中間考査＋学期末考査での点数分70点）＋平常点（宿題，課題考査，出席点での30点）＝100点

